

コメ



# 東川町 東川町農業協同組合 『世界に誇る東川米ブランドへ』

## 【主な品目】

コメ

## 【主な輸出先国・地域】

東アジア、東南アジア、北米、ヨーロッパ

## 【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 地域独自の品質管理を行うことで、品種ではなく東川産の米「東川米」をブランド化。
- ◆ 外食チェーンへの売込みのほか、東川米を用いた料理教室を企画し魅力を伝えるなど、現地ファンを獲得する取り組みを行う。

## 【輸出実績】 (平成29年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和4年度	4,330	253.5	通年
令和3年度	3,648	207.6	
令和2年度	770	43.4	



## 【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 輸出先(実需者)・ホクレン等との連携を強化のうえ、直接対話することに重点を置き、輸出数量の拡大につなげている。
- 現地での販売促進活動を積極的に行い、日本米の魅力の発信と営業活動を強化することで、新規販路開拓にも注力している。
- 海上輸送中の温度変化や長期間輸送による品質劣化が課題。そのため、長期間保存や鮮度保持に特化した製造機器を導入し、新鮮で美味しい東川米の通年輸出を目指す。



## 【今後の課題・展望】

- 複数年契約締結とブランド確立に向けた高品質米の周年安定供給。
- 新規輸出国の調査・販売開始に向けた取組。
- ニーズに沿った商品開発。
- 日本一のグローバル産地化を目指し、世界中の各大陸への総輸出量1,200トン以上を目指す。
- 令和6年6月(予定)から「ひがしかわライスターミナル(精米工場)」の運営を開始し、海外輸出数量拡大を狙う。



【ウェブサイト】 <http://ja-higashikawa.or.jp/>

【連絡先】 担当者名: 営農販売部米穀課 課長 山下裕輝(電話0166-82-2122)

フィンランドで実施した東川米試食会の様子(令和6年1月22日・23日)